



いよいよ昌子の

うつのみや歴史つながる未来通信 第1号



市民の6割以上が反対! LRTの見直しを 路面電車

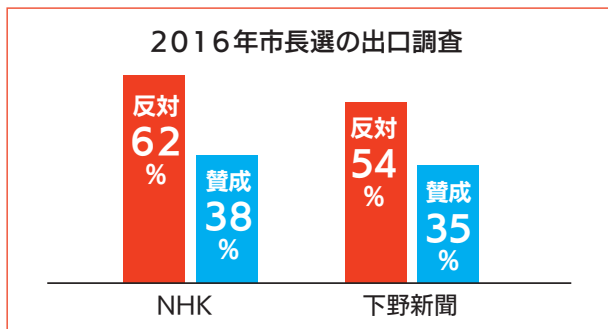


今、宇都宮市は市民の合意を得ることなくLRTの建設を進めようとしています。一昨年の市長選挙の出口調査では、NHKが反対62%・賛成38%、下野新聞が反対54%・賛成35%

と、反対が賛成を上回る回答結果を公表しています。

私が所属する市民団体「宇都宮市のLRT問題連絡会」が、昨年の5月から今年4月にかけて実施した14回の「シール投票」でも、結果はなんと「約7割の市民が反対!」でした。

宇都宮市長には、このような結果をきちんと受け止めてほしいと思います。私たち市民の声です。巨額な税金を投入する大型公共事業なら、市民に丁寧に説明し、市民の意思はどちらなのかをきちんと計って進めるのが民主主義ではないでしょうか。市民の6割以上が反対しているLRT計画は、見直すべきであると、私は考えます。



市民運動でアンケート活動



LRT 軌道敷設のために街路樹が伐採された清原工業団地

見直しを求める3つの理由

① 500億円もの税金のムダづかい

宇都宮駅東側だけで500億円近くの税金が投入される予定です。しかしLRTを使う人は一部の人だけで、観光地もないため需要の増加も期待できません。利用者が少なければ赤字になり、更なる税金投入にもなります。検討されている宇都宮駅西側も含めると膨大な税金が必要です。すべて生活にはね返ってきます。

② 今よりもっと不便になる

市の東西に1本通すだけのLRTでは、LRTに乗るまでが困難なことと、郊外から目的地へ行くのに何回も乗り換えが必要になり、かえて不便になります。交通費も今より高くなります。

③ まだ見直しは可能です

計画は始まったばかり、東側のLRT完成予定は2022年、4年も先です。多くの市民が反対の声を上げ、2019年の市議選、2020年の市長選で議会が変わり市長が変われば、見直しは十分可能です。

シール投票では7割が反対!

町の皆さんの声

- 一部の人がだけ利用
一部の企業や学生しか利用しない。自分たちは全く利用しない。
- 乗る人がいるの?
乗る人はいないよ。宇都宮はもっと違うことにお金を使った方がいいよ。
- 子どもたちが苦しむ
国の借金が1人当たり800万もあるのに、なんでLRTにこんなにお金を出せるんだ。将来の子どもたちが苦しむのは目に見えている。小学校の敷地を削り、狭い住宅細街路を走る危険なルートをなぜ設定したのか。大人の便利・快適のために、子どもたちの安全を犠牲にするのか。
- 利権でしょ
国の森友や加計と同じで友達を優遇しているんじゃないの? 一部の企業とか。



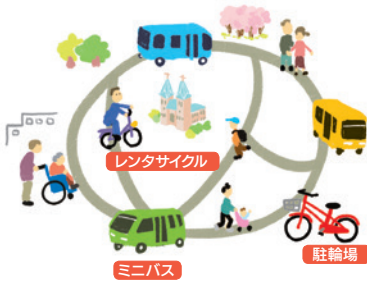
い^{まさこ}でい昌子の提案



LRTより、小回りのきく公共交通と福祉の拡充を

1 バス・自転車・徒歩が中心の街づくりへ

これからは高齢者と子育て世代が暮らしやすい街づくりをめざすべきです。高齢者の自動車事故を少なくし、子育て世代が活用する自転車を使いやすいようにすることが求められています。小回りのきく環境配慮型ミニバスを増やし、表のように他市より不十分な免許返納者への補助制度の拡充、市街地の駐輪場・自転車専用レーン・レンタサイクルなどの拡充で、車がなくても歩いて暮らせる街づくりを！



環境配慮型ミニバスのネットワークを市内全域に

65歳以上の運転免許返納者への補助制度

主な他市との比較

宇都宮市	特になし。 (運転経歴証明書提示でタクシー料金1割引き)
鹿沼市	「リーバス(市バス)」「予約バス」の終身無料乗車券
小山市	「おーバス(市内)」利用終身無料乗車券
矢板市	市営バス無料乗車券
大田原市	市営バスと公共交通の無料乗車券(5年間のみ)
真岡市	デマンドタクシーと市バスが1年間無料
日光市	市内バス・タクシー券11,000円分(1回かぎり)
足利市	電動自転車購入費1/4、 又は路線バス4000円分補助(1回かぎり)

★那須塩原市など年齢制限なしのところもある。

2 ムダをなくして福祉に回す

500億近くにもなりかねない市税投入の余裕があるなら、それを福祉の拡充に回すべきです。給付型奨学金、学校給食の無料化、国民健康保険料の低額化、市民病院の建設などに使うべきではないでしょうか。

栃木県は、10万人あたりの交通事故死者数が4.83人(2017年)で、全国で7番目と高いクルマ中心社会です。また宇都宮市の高齢者の交通事故発生件数は、21.6%(2008年)から31.1%(2017年)へと10年間で約10%も増加しています。補助制度の拡充を！

5つの提案

- 自治** 市民の声がとどく市政に！
- 環境** 澄んだ空気と清い水の環境首都に！
- 子育て** 安心して子どもを産み育てるまちに！
- 福祉** すべての人に暮らしの安心と幸せを！
- 文化** 歴史や文化・芸術を誇りにし、次世代につなげる！

い^{まさこ}でい昌子のプロフィール

1963宇都宮市生まれ／清愛幼稚園、西原小、一条中、宇都宮女子高、東洋英和女学院短大卒業、同専攻科修了／1985-89足利銀行勤務／姿川第二小、宇都宮高PTA役員／姿川第二小地域協議会委員／宇都宮市自転車のまち推進策定懇談会委員／姿川第二学童、宮の原中、宇都宮高野球部保護者会

所属と活動 姿川歴史と文化の会会長／姿川地区まちづくり協議会副会長／宇都宮女子高操会理事／宇都宮保護司会会員／宇都宮更生保護女性会会員／九条の会・栃木会員／環境首都宇都宮を創る緑の会共同代表／宇都宮市のLRT問題連絡会副代表



すべての人が幸せに生きる 美しいふるさとを子どもたちに



宇都宮に生まれ育ち、結婚して子どもを育てる中で、地域のまちづくりや身近な課題に精一杯取り組んで来ました。教育の問題、食品・地球環境・平和の問題、親の介護を通して見てきた問題などなど。今までの経験を活かし、そしてこれからの人生をかけて、大好きな宇都宮をもっともっと良い街に、宇都宮のすべての人が共に楽しく、安心して幸せに暮らせる社会を創りたいと思います。

今を生きるわたしたちと子どもたちの未来のために、そして美しく自然豊かな地域と地球のために、利権やしがらみのないクリーンな宇都宮市をめざし、みなさまと共に政策を実現していきます！

まさこ
い^{まさこ}でい昌子

宇都宮の未来を創る市民の会 内部討議資料

〒320-0851 宇都宮市鶴田町 310-57

TEL:080-5644-6683 FAX:028-647-2578

MAIL: nrqyd316@yahoo.co.jp

い^{まさこ}でい昌子

い^{まさこ}でい昌子と宇都宮の未来を創る会 **会員募集中**